

珠洲

広報すず

1

No.809

January 2022



◆ 今月の主な内容 ◆

- ・ 市長、市議会議長 新年のごあいさつ
- ・ 生き物観察会、SDG s 学習の報告会を開催
- ・ 今月のお知らせ ほか



明 けましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、輝かしい令和4年の初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年秋に開催いたしました「奥能登国際芸術祭2020+」には、約49,000人も多くのの方々にご来場いただきました。開催に際し、ご支援、ご協力を賜りました皆様に、改めて心より感謝申し上げます。今回の芸術祭によって新たに生み出された、他には類のない、光と音と映像による劇場型の歴史民俗博物館「スズ・シアター・ミュージアム」は、今後も、ツアーの受け入れや週末を中心に公開するなど、運営を継続してまいりたいと考えており、世界的に新型コロナウイルスの感染が収束し、海外からの観光が回復した際には、珠洲市の大きな財産になるのではないかと考えております。

現状を打破し、珠洲市が大きく前に進むためには、さらなる変革が必要であると考えております。珠洲市の魅力をさらに高めることで、移住・定住の促進につなげるとともに、新たな公共交通システムの導入やデジタルトランスフォーメーションによって利便性の向上を図るなど、市民の皆様とともに、持続可能な「安心して暮らせる活力ある珠洲市」を目指して、全力で取り組んでまいりたいと考えております。

結びに、令和4年が皆様にとりまして幸多い1年となりますようお祈り申し上げ、新年のご挨拶いたします。

明 けましておめでとうございます。市民の皆様には、穏やかな新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

日頃より、市議会に対し、深いご理解と温かいご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、珠洲市議会では、市民の皆様からのご意見を広く聴取し、市民ニーズを反映した議会運営を図るため、議会モニター制度を導入いたしました。また、市内各団体との意見交換会を開催するなど、議会の活性化に向けた取り組みを積極的に進めております。そのような取り組みを進める中で、議会自らのさまざまな活動が、本市議会の基本理念、議会および議員の活動原則等の基本的事項を定めた珠洲市議会基本条例の目的に沿って進められているか議論を重ね、さらに市民の皆様に分かりやすく、開かれた議会を目指す取り組みにも努めてまいりました。

本市最大の課題である人口減少を食い止め、次の世代に持続可能な地域社会を残していくためにも、議会の果たす役割と責任は一層重要になってきております。

私たちは今後も、責任世代としての役割を果たすべく、決意も新たに全力を尽くしてまいります所存でございます。

結びに、令和4年が皆様にとりまして、より良い1年となりますことを心から祈念申し上げます、新春のご挨拶いたします。



珠洲市議会議長 寺井秀樹



珠洲市長 泉谷満寿裕



珠洲の里山「生き物観察会」

活動報告会



↑ 報告会の様子はコチラ



能登SDGsラボホームページから
もご覧いただけます

能登SDGsラボ 検索

12月11日(土)、珠洲の里山「生き物観察会」の報告会がラポルトすずで行われ、市内小学校の3・4年生が学校近くの水田やビオトープなどで調べた生き物観察の成果を発表しました。

はじめに、開会あいさつで泉谷市長が、「豊かな里山海やそこに暮らす人々の営みはもちろん、多くの生き物がいることも認定理由の1つです」と、能登の里山海が世界農業遺産に認定されてから10周年を迎えたことに触れ、「これを守り、活かすことで、珠洲の農産物や海産物の価値が高まることにつなげたい」と述べました。また、国が佐渡島以外でのトキの放鳥を目指していることにも触れ、「珠洲もトキと一緒に住める地域としたい」と力を込めました。

次に、市自然共生室の宇都

宮研究員が調査全体の概要を説明しました。

発表では、児童たちが地域の農家のみなさんの協力のもと、生き物観察をした成果を元気に伝えました。「生き物の住み家を守るために、地元で採れたお米を食べる」、「ゴミのポイ捨てをしないことなど、一つ一つの心がけで珠洲の自然を守る」など、調査結果だけでなく、豊かな自然を守っていくために考えたことまで、一生懸命発表しました。

また、協力農家のみなさんは、「私たちも気が付かない事があって感心しました」、「これからも安全・安心に調査ができるよう協力します」、「1人でも多く珠洲で農業に就いてくれる人が生まれることを願っています」と感想を述べました。



最後に、NPO法人能登半島おらっちゃんの里山里海に加藤理事長が、「生き物に実際に触れて分かること、そこから整理し考えることで、新たな発見が生まれます。そういったことを大切にしてほしいです」と講評を述べました。



直小学校

直まき水田と一般的な水田に住む生き物の違いについて、自分たちの予想と調べた結果の違いを発表し、直まき水田には幼虫がいないことなどを報告しました。

観察会を通して田んぼへの理解が深まったことや、地元のお米を食べられることに感謝しながら、田んぼを残し続けることの大切さを伝えました。



正院小学校

6月と9月に調べた田んぼと水路の違いを紹介。春から冬にかけて成虫になり、姿を変える生き物があることや、水路には、水に流されにくい特徴を持った生き物があることを発表しました。

ゴミのポイ捨てをしないといった行動の1つ1つが珠洲の自然を守っていくことにつながると呼びかけ、発表を締めくくりました。



蛸島小学校

ため池と田んぼで調査した結果を発表しました。近くの場所でも、ため池と田んぼといった環境の違いによって、住んでいる生き物が違うことや、それぞれの生き物の特徴などを紹介しました。

観察会を通して、田んぼは人間や生き物にとって大切な場所であることに気がつくことができたと報告しました。



みさき小学校

粟津地区にあるビオトープと直まき水田で調査を行い、見つけた生き物や、何をエサにしているかを紹介しました。中でも、トンボについて詳しく調べ、同じ時期にトンボの成虫と幼虫が生息していることを疑問に思い、調べた結果を発表しました。

これからも三崎地区で多くの生き物が見られるように、田んぼでお米作りを続けてほしいと呼びかけました。



大谷小中学校

田んぼと大谷川で調査したことを発表し、川は田んぼと違い、常に水が流れていることから、田んぼには生息しない19種類の生き物を見つけたことを紹介しました。

また、いろいろな生き物の住み家になっている田んぼを減らさないためにできることとして、地元で採れたお米を食べることが何よりも大切だと報告しました。

宝立小中学校



ビオトープと田んぼで水温が全く違うことや、住んでいる生き物の種類を紹介。ゲンゴロウは、同じ仲間のゲンゴロウが天敵になるということ、ドジョウは、あごについているひげで餌をさがし、味を感じていることなどを紹介した後、生き物を守るために取り組みたいことをそれぞれ発表しました。

上戸小学校



直まきの田んぼと清水川で調査をした児童たち。両方で33種類の生き物が確認でき、共通の場所に生息していたのはシオカラトンボだけだったと紹介しました。

生き物の生息場所には『綺麗な水』『エサとなる食べ物』『天敵から隠れる場所』が大切だと発表しました。

飯田小学校



飯田町で唯一の田んぼと若山川にどんな生き物が住んでいるか調査した結果を報告しました。

アメンボの特徴や、川に生息するカニが田んぼでも発見ができたことを紹介し、田んぼは多くの生き物の住みかになっているため、これからも大切にしていきたいと締めくくりました。

若山小学校



「若山不思議だ〜い発見」と題し、学校近くの田んぼで調査した結果を報告。同じ田んぼでも直まきと田植えでは、水を張る時期が違い、生き物の数も異なることについて、クイズを交えて発表しました。また、自然を大切にすることは、生き物の育つ環境の改善につながっていくと述べました。


珠洲市SDGs学習 取組報告会

12月11日(土)、珠洲市SDGs学習取組報告会がラポルトすずで行われ、市内小学5・6年生と中学1・3年生が、総合的な学習の時間を中心に行っているSDGs学習の成果を発表しました。

開会あいさつで吉木教育長が、2018年に珠洲市がSDGs未来都市に選定され、2019年からSDGs学習が始まったことを紹介し、「県内でも先端を行く、素晴らしい取り組みなので、ぜひみなさん誇りを持ってください。また、それぞれの学びを深める良い機会にしてください」と話しました。


児童・生徒たちは、地域の人たちから学んだ珠洲の魅力や課題を、SDGsの目標と関連づけて捉えなおし、さまざまな取り組みや提案を発表しました。

上戸小5・6年生




普段から見守り、支えてくれる地域の高齢者のために、住みやすいまちを作りたいと考え調査を実施。今後そのための提案をしたい。

宝立小中5・6年生




森林保全活動などを通し、豊かな自然には必ず人が関わっているということが分かった。住み続けられるまちづくりのために、地域の人と協力したい。

飯田小6年生




移住者へのインタビューから、珠洲の強みや問題点はつながっていることが分かった。多面的な取り組みや自分たちができることを考えたい。

飯田小5年生




海岸清掃に取り組む人の話を聞き、物を大切に使う、捨てる前にリサイクルできないか考えることに取り組みたい。

直小6年生




珠洲を「住み続けられるまち」にするため地域の声を聞いた。「差別・偏見を無くす」「祭りを伝える」など自分たちができていることに取り組む。

直小5年生




海上体験・海岸清掃・能登里海教育研究所での海洋ごみ問題の学習などを通して、珠洲の豊かな海を守りたいと思った。

若山小5・6年生




若山の歴史調べや、地域の144人のみなさんに聞いた若山の魅力や課題を通し、若山町が100年続いたためのヒント=お宝を探していきたい。

みさき小5・6年生



田植え・稲刈り、アサギマダラ観察、ゴミ問題、トキ学習などを通じ、豊かな環境作りの大切さを多くの人に広めていく活動をしたい。

緑丘中1年生



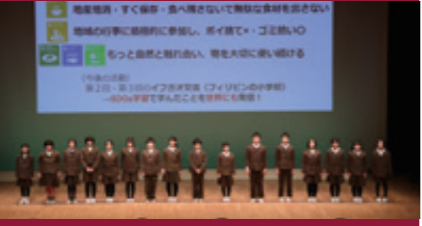
各小学校でのSDGs取り組み交流、地域での体験活動、花王株式会社との協働で、SDGs学習について私たちにできることを模索した。

三崎中3年生



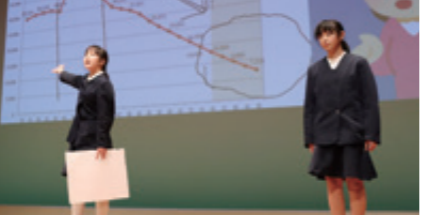
農業から珠洲の未来を考え、農家と大学を結び、スマート農業を導入するための「宿泊農業プラン」を提案。課題はより珠洲らしさを加える工夫が必要。

正院小5・6年生




世界農業遺産に認定された珠洲の良さはSDGsにつながる。S(正院)D(大好き)G(がんばる)S(ズ)として、「正院子ども宣言」を発信していく。

大谷小中5・6年生



移住した方などに珠洲の良さを聞き、珠洲の魅力を活かしたまちづくりのための解決策を考えたり、魅力を発信するパンフレットを作成したい。

緑丘中2年生




珠洲の人・文化・観光資源とつながる中で、珠洲の良さは「変わらないものがあること」だと分かり、それを守るために「何を变えていくのか」を今後提案する。

大谷小中7・8年生




観光と地域の人口をテーマに学習。住み続けられる自慢のふるさとのために、大谷の魅力伝えるパンフレットやCMの作成を行っている。

蛸島小5・6年生




地元漁師さんや花王株式会社から海を守る取り組みを聞き、エコバッグを使うなど自分たちにできることを提案し、今後、発信をしていく。

宝立小中7・8・9年生



SDGs目標に関し、里海、里山、電動マウンテンバイクを使った宝立三大スポットを巡るツアー作成の3チームの報告や今後の取組を発表。


緑丘中3年生



15年後の鉢ヶ崎の風景を創造する全6回のワークショップを通し、珠洲の課題克服・魅力や資源の活用をした「未来の鉢ヶ崎」を提案する。

【講評】大人でも、「このゴールに貢献しました」で終わることのあるSDGsに対して、みなさんはさまざまな発見や提案があり、感動しました。今後はぜひこの素晴らしい学びを発信してほしいです。

国連大学サステナビリティ高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティングユニット 永井三岐子 事務局長




▲報告会の様子はコチラ



▲能登SDGsラボホームページからもご覧になれます

能登SDGsラボ 検索

■接種場所

市内医療機関（珠州市総合病院、あいずみクリニック、小西医院、田中クリニック、なかにに医院、みちした内科クリニック）

■接種当日の持ち物・服装

接種券が印字された「予診票」 + 「予防接種済証」 + 「本人確認書類」マイナンバーカード、運転免許証、健康保険証など + 「肩を出しやすい服装」

※接種券が印字された「予診票」は、会場での再発行はできないため、忘れた場合はワクチン接種を受けることができません。必ずお持ちください。

■2回目接種後に珠州市に転入された方へ

2回目接種完了後に珠州市に転入された方は、3回目接種券の発行申請が必要です。1・2回目の接種済証を持参し、健康増進センター窓口で発行の申請をしてください。

※申請書は市ホームページからもダウンロードできます。



■今後1・2回目接種を希望される方へ

これから1回目の接種を希望する方は、下記専用ダイヤルまでご連絡ください。

■ワクチンパスポートのデジタル化について

これまで新型コロナワクチンの接種証明書は、紙による申請・交付を行っていましたが、12月20日からスマートフォン上の専用アプリからも申請・取得が可能となりました。

また、デジタル化に伴い、海外渡航用に限定せず、国内利用のための発行も可能となりました。

なお、電子申請にはマイナンバーカードが必要です。マイナンバーカードを所持していない方や、スマートフォンを持っていない方は、これまで通り、健康増進センター窓口での申請により、紙によるワクチン接種証明書の発行を受けることができます。

※日本国内での接種証明については、「接種済証」や「接種記録書」も、引き続き証明書としてご利用いただけます。



▲アプリの情報はこちらから

■問い合わせ 【受付時間 午前9時から午後5時まで（土・日・祝日を除く）】

珠州市新型コロナワクチン接種専用ダイヤル
☎0768(82)5067

新型コロナワクチン接種について

市内での新型コロナワクチン3回目接種が始まります。対象は、2回目接種を終了した日から、原則8か月以上経過した18歳以上の方です。医療従事者、高齢者福祉施設などの従事者・入所者は2回目接種から6か月経過後、また、一般の高齢者については7か月経過後に接種することができます。

対象の方には、順次接種券を発送しています。スケジュールは下記のとおりです。



■接種スケジュール

2回目接種を受けた時期	接種券発送予定時期	3回目接種の目安
令和3年3～4月	令和3年11～12月（発送済）	令和3年12月～
// 5月 1日～31日	// 12月20日（発送済）	令和4年1月24日～
// 6月 1日～30日	令和4年 1月17日頃	// 2月～
// 7月 1日～31日	// 2月15日頃	// 3月～
// 8月 1日～15日	// 3月15日頃	// 4月～
// 8月16日～	// 4月 1日以降順次	// 4月以降順次

■接種するワクチン

1・2回目で使用したワクチンの種類にかかわらず、「ファイザー社製」または「武田 / モデルナ社製」を使用します（ともに mRNA ワクチン）。

なお、2月は「武田 / モデルナ社製」、3月以降は「ファイザー社製」ワクチンを使用する予定です。

※初回接種で使用したワクチンと異なるワクチンを使用（交差接種）することの効果や安全性を評価した米国の研究によると、交差接種を伴う追加接種の抗体価の上昇は良好であること、また、副反応に関しても、初回接種で報告されたものと同程度であり、交差接種と同種接種で差がなかったと報告されています。

【厚生労働省ホームページより】

■申し込み方法

1 市から個人あてに、

- ご案内
- 接種券が印字された予診票・予防接種済証
- 申し込み用はがきを郵送します。



2 はがきに、接種を希望する医療機関を選択し、ポストへ投函してください

※できるだけ案内が届いた月の月末までに投函してください



3 後日、接種日をご案内します

※珠州市総合病院を希望した場合
→接種日の約1週間前に予約票を送付します。案内が届くまでお待ちください。

※市内のクリニック・医院を希望した場合

→はがきに記入した電話番号に、後日、希望したクリニック・医院から接種日案内の連絡があります。

珠洲市灯油あつたか支援事業

原油価格高騰で灯油価格が大幅に値上がりしています。市では、冬期間における下記の世帯の負担軽減を図るため、灯油助成券を交付します。

■対象世帯 令和3年12月1日(水)において本市に住所があり、次のいずれかに該当する世帯

- ◎市民税非課税世帯 ◎市民税均等割のみ課税世帯 ◎生活保護受給世帯
- ◎ひとり親世帯のうち、児童扶養手当受給世帯およびひとり親家庭医療費受給世帯

※社会福祉施設などに入所している世帯、未申告者のいる世帯は除きます

※上記のうち、令和3年1月2日から12月2日までの間に転入された世帯は、申請が必要です。申請書とともに課税・非課税証明書、本人確認書類を添付し下記まで申請してください(申請書類は、珠洲市ホームページからダウンロードできます。)

■助成金額 1世帯当たり 5,000円

1枚500円の助成券10枚綴りを1月上旬に対象世帯に送付します。

■利用方法 市内の灯油販売店のみで利用できます。灯油を購入する際に、助成券を販売店に提出してください。



■問い合わせ 福祉課高齢者支援係 ☎(82)7749

申請期限は1月31日(月)までです

珠洲市経営持続月次支援金事業

石川県内で「まん延防止等重点措置」が適用された、令和3年5、6、8、9月において経営が悪化した市内の中小法人および個人事業者等を支援するため、新たな支援金事業を実施しています。

■対象者 令和3年5、6、8、9月のいずれか(以下、「対象月」)に、下記の1または2に該当した事業者

- 1「国の月次支援金」を受給した事業者
- 2「国の月次支援金」の対象となる業態であって、令和元年または令和2年の対象月比の事業収入が30パーセント以上減少した事業者

■給付限度額

- ◎中小法人等 → 1か月あたり上限10万円(最大3か月分、30万円)
- ◎個人事業者等 → 1か月あたり上限5万円(最大3か月分、15万円)

■申請期間 1月31日(月)まで

■その他

対象となる業態や、給付額の計算方法、支給要件など、詳しくは広報せず2021年11月号や珠洲市ホームページをご覧ください。下記までお問い合わせください。

まずはご相談ください!



■問い合わせ 産業振興課商工振興・企業誘致係 ☎(82)7775

珠洲市子育て世帯への臨時特別給付金



■支給額

児童1人当たり 一律10万円

■対象児童

平成15年4月2日から令和4年3月31日までに生まれた児童

申請が**不要**な方



令和3年12月24日(金)に振り込みました。

申請が**必要**な方



下記の方は、令和4年3月31日(木)までに申請してください。

申請が**必要**な方

- ①対象児童のうち、高校生のみ養育している方
(令和3年9月30日時点で本市に住所を有する方に限る)
 - ②公務員で令和3年9月分の児童手当を受給している方
(令和3年9月30日時点で本市に住所を有する方に限る)
 - ③令和4年3月31日までに生まれた児童手当の支給対象児童の保護者の方
- ※①～③とも、保護者(父母のうち所得の高い方)の所得が制限限度額以上の方は除かれます。詳しくは、市ホームページをご覧ください。

■申請方法

申請書に振込先口座などを記入し、下記の必要書類とともに市役所の窓口へ直接、または郵送でご提出ください。

※申請書類は、珠洲市ホームページからもダウンロードできます。



■必要書類

- 【受取口座を確認できる書類(通帳など)】… 支給対象者①、②、③の方
- 【児童手当(公務員は9月分)を受給していることがわかる書類(支払通知書、給与明細書、その他証明書など)】… 支給対象者②、③の方

※上記の他、児童と同居されていない方など、本市で所得の確認ができない方は、令和3年度課税証明書(父母両方)や住民票を求めた場合があります。

■申請期間 令和4年1月4日(火)～3月31日(木)まで

■問い合わせ・申請先

〒927-1295 珠洲市上戸町北方1-6-2
福祉課子育て支援係(市役所1階5番窓口) ☎(82)7747

除雪についてのお願い

みなさんの道路交通の安全を確保し、安心して冬を過ごすために、次のことにご理解とご協力をお願いします。

【自宅の前は、自分で除雪を！】

◎除雪車が通った後には押し寄せられた雪がどうしても残ってしまいます。可能な限り、雪のかたまりが残らないように努めていますが、沿道の一軒一軒の出入口の除雪や、各ご家庭の生活時間にあわせた作業を行うことはできませんので、玄関先や車庫前はみなさんで雪の処理を行っていただくよう、ご理解とご協力をお願いします。

また、雪かきが困難なお年寄りのみの世帯などでは、近所のみなさんで雪かきを行うなど、**地域ぐるみでの除雪**をお願いします。

《道路の除雪に関すること》

■環境建設課 ☎(82)7757

※夜間、休日は、☎(82)2222まで連絡してください



◎玄関先の除雪など、お年寄りのみの世帯や自力で行うことが困難な場合は、作業のお手伝いなどのご相談を下記で受け付けています。
ただし、有料の場合や、時間を要する場合がありますので、ご理解をお願いします。

《玄関先の除雪に関することは…》

■シルバー人材センター(有料)

☎(82)6886

■社会福祉協議会(除雪ボランティア)

☎(82)7751



磯辺行久プロジェクト

「対馬海流(暖流)とリマン海流(寒流)」 ワークショップ報告会



▲高屋沖から海洋バイ放流の様子。

12月15日(水)から17日(金)までの3日間、直、正院、蛸島、みさき小学校で、奥能登国際芸術祭2020+参加アーティスト磯辺行久さんのプロジェクト「対馬海流(暖流)とリマン海流(寒流)」ワークショップの報告会を行いました。

磯辺行久プロジェクトとは？大陸からの偏西風、沖合でぶつかる寒流と暖流などの自然条件が、植生や海の風景など、外浦と内浦で全く異なる場面をつくりあげてきました。しかし、文明の進化とともに自然環境にもさまざまな問題が生じてきています。磯辺さんは、そのような環境問題を未来を築いていく子どもたちに問い、考えてもらうことを目的として、今回のプロジェクトをスタートさせました。

秋田県と新潟県に漂着した今回のワークショップでは、7月に5・6年生を対象とした事前学習会を実施し、10月に海洋バイの放流が行われました。報告会では、海洋バイに取り付けられたGPS情報から、どのように流れ、どこに漂着したのかを確認しながら、海流について学びました。



▲4つのうち2つの海洋バイが現地の人に拾われました。海洋バイに取り付けたハガキの返信に子どもたちから笑顔がこぼれます。



奥能登国際芸術祭 珠洲

お問い合わせ

奥能登国際芸術祭実行委員会事務局

〒927-1214 石川県珠洲市飯田町13-120-1

☎0768(82)7720

FAX ☎0768(82)7727

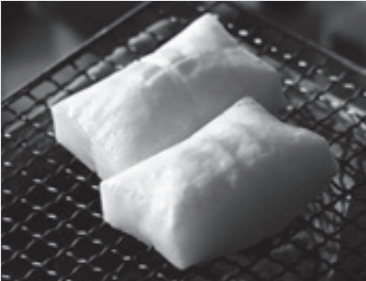
info@oku-net.jp

公式WEBサイト



おもちが詰まったら迷わず119番通報を！

■珠洲消防署 ☎(82)0247 緊急時は迷わず ☎(119)へ



～ 詰まった時の対処法 ～

反応(意識) あり

- 咳をしている場合は本人に強い咳をさせる
- 背中の中を平手で何度もたたく
- 口の中へはむやみに指など入れず、見えるものだけを取り除く

反応(意識) なし

- ただちに119番通報！心肺蘇生法を行う(心臓マッサージだけでも良い)
- ※親類や近所の人への相談で、通報が遅れる事例が多くあります。1分1秒を争うので、ただちに119番通報を！

～ 事故を防ぐポイント ～

- ひと口サイズに小さく切る
- お茶や汁物などの水分と一緒に食べる
- ゆっくりとかむ
- 口に入れたまま話さない
- 何かをしながら食べない
- 飲み込むときは意識を集中して、ゆっくり飲み込む
- できるだけ家族や知人など複数の人と一緒に食べる
- 酒にひどく酔った状態で食べない など

高齢者や介護を必要とする人は、おかゆなど流動食に近い食べ物でも窒息を起こすことがあります。また、窒息時に掃除機で吸い出そうとすると、症状が悪化したり感染症を引き起こすこともあるのでやめましょう。食事の際は目を離さないよう注意してください。

創造都市ネットワーク日本 (CCNJ) シンポジウム 現代芸術の国際展 in 珠洲 開催のお知らせ

国内および世界の創造都市間の支援・連携・交流を行う創造都市ネットワーク日本 (CCNJ) のシンポジウムを開催します。当日は、「さいはての地」だからこそ提案できる、これからのアートの姿と持続可能な地域社会について考えていきます。みなさんのご参加お待ちしております。

- ▶ テーマ 持続可能な地域社会と国際芸術祭 ～里山里海×アート×SDGsの融合と新しいコモンズの視点から～
- ▶ 出演 基調講演：北川フラム(奥能登国際芸術祭総合ディレクター) パネリスト：永井三岐子(国連大学サステイナビリティ高等研究所 OUIK 事務局長)

笠間彩(金沢市役所) 泉谷満寿裕(珠洲市長)

- モデレーター：宇野文夫(前金沢大学特任教授) 他
- ▶ 日時 2022年1月21日(金) 14:00～16:30
- ▶ 場所 ラポルトすず 大ホール ※参加無料



スズ・シアター・ミュージアム 「光の方舟」公式カタログ

2021年12月8日発売 税込み価格1,650円

- ▶ 著者 北川フラム、南条嘉毅 川村清志
- ▶ 執筆協力 川邊咲子、天野真志
- ▶ 発行 奥能登国際芸術祭 実行委員会

本書では、スズ・シアター・ミュージアム「光の方舟」が誕生するまでの背景や、展示に使用する民具や奥能登地域に特色ある民具の紹介のほか、これらの民具が眠っていた家主の来歴や民具にまつわる生活の記憶の聞き取り調査なども収録しています。

書店、奥能登国際芸術祭実行委員会事務局ほか Amazon、楽天ブックスにて発売中!

自分の健康は自分で守る



シリーズ血圧について② 家庭血圧 ～メリットと測定方法～

血圧は、ストレスや喫煙環境や運動など、さまざまな影響で大きく変動します。健康な人はその変動がほぼ一定の範囲内にありますが、高血圧の人はこの変動が大きくなり、脳卒中や心筋梗塞等の発病リスクが高く、死亡率も高くなると言われています。

家庭で血圧を測ろう！

そこで、自分自身の普段の血圧や変動を知ることがとても大切です。今回は、家庭血圧の測り方や注意事項をお伝えします。

家庭血圧の測定方法

- タイミングと条件** 1日2回(朝と晩)
朝 → 起床後1時間以内で排尿後、朝食・服薬前
晩 → 就寝前
 - 回数** 原則2回測定し、その平均をとりましょう(1回のみでも可)。
※2回測定した場合は、2回とも値を記録しましょう
 - ポイント** ①イス(できれば背もたれ有)に座って1~2分の安静後に測定する ②血圧計を巻く場所は心臓と同じ高さにする ③測定前に喫煙、飲酒、カフェイン摂取をしない ④静かで、適当な室温の部屋で測定する
- ※暖房の無い寒い部屋での測定は、血圧が高くなるため、室温にも注意しましょう。
※測定値から、自己判断で降圧薬の中止・増減をしてはいけません。必ず医療機関に相談してください。

家庭血圧測定のメリット

- ①家庭血圧はストレスや運動などの影響を受けにくい
 - ②自分の血圧がどの程度の範囲内で変動するか知ることができる
 - ③いつでも測定でき、1回1回のばらつきが少ない
 - ④生活習慣の修正や降圧薬処方・治療評価の参考になる
 - ⑤白衣高血圧・仮面高血圧を診断するのに役立つ
- ※白衣高血圧・仮面高血圧については、次回お伝えします。

血圧計の種類

市販の血圧計は、①機械に腕を差し入れるもの、②腕に巻き付けるもの、③首首に巻き付けるものの3種類に大きく分けることができます。

正確さはおおむね①↓②↓③の順、その分大きさも①↓②↓③の順です。予算や設置場所に合うものを探してみてください。

家庭血圧の記録

血圧の記録は、血圧手帳が便利です。健康増進センターと公民館で配布しています。記録時、極端に血圧が上下していた場合は、血圧手帳のメモ欄に生活上の変化(飲み会、外食、夜勤など)も記載しましょう。



血圧測定の注意点

①血圧が希望の値になるまで何回も測定していませんか？
家庭血圧は、生活習慣の修

正や降圧薬の量などが適切か判断するためのものです。座って1~2分静かにした後の値で判断するものなので、2回測定した平均値で十分です。低い値になるよう何度も計らず、そのままの値を記録しましょう。

②勤務の都合、就寝・起床時間が不規則な場合は、いつ測れば良いですか？

血圧は、「影響因子による変動を避け、安静にした状態での血圧を、持続して測定する」とされています。

朝と晩に関係なく、「覚醒後1時間以内と就寝前」、「排尿後」、「食事前」、「座って1~2分の安静後」などを守りながら、継続できる条件で測定し、測定時間を記録しておくようにしましょう。

また、降圧薬を服用している方は、服薬前の測定が治療の評価に役立ちます。

次回は、血圧測定から分かる、「高血圧」の4つのタイプについてお伝えします。



冬こそ気をつけたい

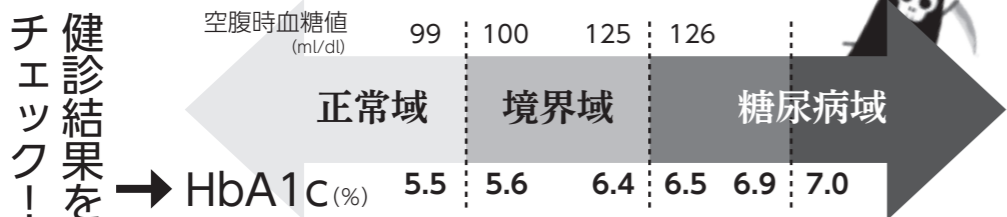
「糖尿病」

糖尿病は、インスリンというホルモンが十分に働かないために、血糖値(血液中のブドウ糖の濃度)が高くなる病気です。

血糖値が何年間も高いまま放置されると、血管が傷つき、将来的に目や腎臓、神経などの細い血管に障がいや起きたり、動脈硬化が進んで脳卒中や心筋梗塞の発症リスクの増加につながります。

これらの合併症を防ぐためには、血糖値をできる限り正常域に近づけ、良好な状態を維持することが重要です。

血糖コントロールの指標は、HbA1c(ヘモグロビン・エーワンシー)という検査値で、下記のとおり5.5以下が正常域となります。



健診結果をチェック!

冬は、血糖値が乱れがち



運動不足

食事で摂取した糖の7割は「筋肉」で消費されます。運動不足による筋力の低下で高血糖に。



食事の機会増

クリスマス、正月、忘年会、新年会...。食べ過ぎにより肥大化した内臓脂肪が血糖調整を阻害します。



寒さ

寒さがストレスホルモン「コルチゾール」の分泌につながり、インスリンの働きを阻害します。

「シリーズ糖尿病」を見て、予防しましょう!

昨年度の広報すず 10月号~2月号(2020年10月号~2021年2月号)掲載の「シリーズ糖尿病」の記事で、血糖コントロールのための取り組みのヒントや、気になる合併症について紹介しています。あらためて読んでいただき、糖尿病・合併症予防に役立ててみませんか。

お手元に過去の広報がない方は、珠洲市ホームページで公開していますのでぜひご覧ください。また、健康増進センター窓口にも、「シリーズ糖尿病」の記事を設置しています。



「シリーズ糖尿病」の記事を読んで答えよう! プレゼントクイズ!

ご活用ください! 「○○○○○○○○」

受診時には、自身の症状やHbA1cが分かる検査結果があると、よりよい判断につながります。そこで、検査結果や経過などが確認できる「○○○○○○○○」をご活用ください。
ヒント:「シリーズ糖尿病」令和2年10月号の記事の中に答えがあります。

答えが分かった方は、ハガキに必要事項を記入のうえ、下記までお送りください。正解された方にはすてきなプレゼントをお送りします(1月14日消印有効)
①クイズの答え ②住所 ③氏名 ④糖尿病特集記事についての感想や要望
■あて先 〒927-1214 珠洲市飯田町5-9 珠洲市健康増進センター ☎(82)7742

来月は「糖尿病と歯の関係」についてお伝えします。

求む！あなたの力が必要です！

珠洲市職員を募集します

※職員募集に関する受付は、平日8時30分～17時15分です。また、土・日・祝日は受付を行っておりません（珠洲市民図書館の受付時間は9時～18時30分で、月・祝日が休館日です）
※郵送で応募する場合は簡易書留にて各締切日必着のこと
※次に該当する場合は受験できません

①日本国籍を有しない人 ②地方公務員法第16条に規定する欠格条項に該当する人

① 行政職

■受付期間 1月4日(火)～26日(水)

■採用予定日 令和4年4月1日(金)

■募集職種

・行政事務S(司書) …1人程度

平成3年4月2日以降に生まれた人で、現に司書の資格を有する人、または令和4年3月までに資格取得見込みの人

・保健師 …1人程度

平成3年4月2日以降に生まれた人で、現に保健師の免許を有する人、または令和4年3月までに免許取得見込みの人

・社会福祉士 …1人程度

昭和61年4月2日以降に生まれた人で、現に社会福祉士の資格を有する人、または令和4年3月までに資格取得見込みの人

■応募方法 下記を持参または郵送してください

●申込書(顔写真添付) ●履歴書(顔写真添付)

●受験資格に必要な免許または資格証明書の写し

※顔写真は、3か月以内に撮影した写真を貼ってください(縦4cm、横3cm、脱帽、正面向き上半身)

※受験申込書は、市役所総務課にて交付するほか、ホームページからもダウンロードできます

※履歴書は申込書と同時に渡します

■試験日 2月6日(日) 珠洲市役所にて

問い合わせ・書類提出先

■〒927・1295 (住所記載不要)

珠洲市総務課行政管理係 ☎(82)7711

② 医療職

■受付期間 1月4日(火)～31日(月)

■採用予定日 令和4年4月1日(金)

■募集職種

・看護師 …2人程度 ・薬剤師 …1人程度

昭和46年4月2日以降に生まれた人で、現に免許を有する人、または令和4年3月までに免許取得見込みの人

・臨床工学技士 …1人程度

昭和46年4月2日以降に生まれた人で、現に免許を有し、臨床工学技士の経験を有する人

・作業療法士 …1人程度

昭和61年4月2日以降に生まれた人で、現に免許を有する人、または令和4年3月までに免許取得見込みの人

・診療放射線技師 …1人程度

昭和56年4月2日以降に生まれた人で、現に免許を有する人、または令和4年3月までに免許取得見込みの人

■応募方法 下記を持参または郵送してください

●申込書(顔写真添付) ●履歴書(顔写真添付)

●受験資格に必要な免許または資格証明書の写し

※顔写真は、3か月以内に撮影した写真を貼ってください(縦4cm、横3cm、脱帽、正面向き上半身)

※受験申込書は、市役所総務課・市総合病院にて交付するほか、ホームページからもダウンロードできます

※履歴書は申込書と同時に渡します

■試験日 2月15日(火) 珠洲市総合病院にて

※試験は、作文試験と面接を実施

問い合わせ・書類提出先

■〒927・1295 (住所記載不要)

珠洲市総務課行政管理係 ☎(82)7711

③ 会計年度任用職員

■応募方法 下記(1)～(6)全て、まずは珠洲ハローワーク求人情報コーナー(珠洲市地域職業相談室) ☎(82)0157に連絡し、各職種の申込先に応募してください。また、履歴書には顔写真(3か月以内に撮影したもの、脱帽・正面向き・上半身像)を貼ってください。

(1) 一般行政事務補助員 (障がい者手帳所有者 2人程度)

■受付期間 1月21日(金)まで

■採用予定日 令和4年2月1日(火)

■業務内容

・税務課配属…1人程度

税務課窓口における証明書などの発行、手数料の收受、税務相談時の案内業務、出納室における伝票取扱い業務

・企画財政課配属…1名程度

企画財政課におけるバスチケット取扱い業務、自然共生ポイント取扱い業務、各種相談時の案内業務

(2) 一般行政事務補助員 5人程度

■受付期間 1月4日(火)～26日(水)

■採用予定日 令和4年4月1日(金)

■業務内容 市庁舎での一般事務補助、窓口・電話応対の補助、パソコンによる資料作成や整理など

(1)～(2)の問い合わせ・書類提出先

■〒927・1295 (住所記載不要)

珠洲市総務課行政管理係 ☎(82)7711

(3) 日置公民館主事 1人程度

■受付期間 1月4日(火)～28日(金)

■採用予定日 令和4年4月1日(金)

■応募資格 ①普通自動車運転免許を持ち、自家用車を持っている ②基本的なパソコン操作ができる(ワードやエクセルなど) ③心身ともに健康で、公民館の生涯学習活動や管理運営に意欲がある

(4) 放課後子ども教室支援員 1人程度

■受付期間 1月4日(火)～28日(金)

■採用予定日 令和4年4月1日(金)

■応募資格 ①普通自動車運転免許を持ち、自家用車を持っている ②心身ともに健康で、教職員や小学生と良好な関係を築きコミュニケーションをとれる

(5) 市民図書館司書 1人程度

■受付期間 1月30日(日)まで

■採用予定日 令和4年4月1日(金)

■応募資格 ①現に司書の資格を有する、または令和4年3月までに資格取得見込みである ②普通自動車運転免許を持っている ③基本的なパソコン操作ができる(ワードやエクセルなど)

(3)～(4)の問い合わせ・書類提出先

■〒927・1295 (住所記載不要)

珠洲市教育委員会事務局 生涯学習係

☎(82)7826

(5)の問い合わせ・書類提出先

■〒927・1213 珠洲市野々江町工部1番地5

珠洲市教育委員会事務局 図書サービス係

☎(82)3377

(6) 医師事務作業補助者 1人程度、一般事務補助員 2人程度

■受付期間 1月4日(火)～31日(月)

■採用予定日 令和4年4月1日(金)

■募集職種

・医師事務作業補助者 …1人程度

(業務内容：電子カルテなど診療記録への代行入力、診断書や診療情報提供書など医療文書の作成代行など)

・一般事務補助員 …2人程度

(業務内容：来院患者などの応対・電話応対、救急患者受付、新患受付業務、会計業務など)

問い合わせ・書類提出先

■〒927・1213 野々江町工部1番地1

珠洲市総合病院事務局 ☎(82)1181

市政懇談会を開催

11月9日から12月9日にかけて、市内10地区で「市政懇談会」を開催しました。ここでは、会場で寄せられた意見や質問と、その回答を一部紹介します。

●はじめに

新型コロナウイルス感染症対策のため、区長のみなさんと市長との懇談となりました。

●地震が頻発しており、心配だ

金沢気象台によると、4か所の震源でまんべんなく発生しているが、内陸で発生する分には津波の心配はない。一定量のエネルギーが放出されれば終息するといわれているが、それがどれだけの量なのかわからない。

また、震度5弱と5強で大きな違いがあり、震度5強が発生したら、その先数か月は雨が降った時に土砂災害警報の発出が早くなる。いずれにしても災害発生時に備え、家具の固定、避難路の確認、非常持ち出し袋の確認などをしてほしい。

●防災行政無線について(聞きづらい場合の対応、戸別受信機など)

どうしても聞こえづらいところは戸別受信機を配布した。そのほかに、希望があれば1万円ですべて貸与しており、現在130軒ほどにお渡しした。

防災行政無線と同じ情報を携帯電話やスマートフォンで受け取ることが出来る「防災メール」を勧めている。危機管理室で登録のお手伝いをしてほしい。地域の集まりなどでの対応もしているので活用してほしい。

防災メール



上記QRを読み込んで登録してください。ご不明な点は危機管理室(82)7725まで

●新型コロナウイルス3回目の接種について

2回目接種から8か月経過した人に、順次案内をし、1月24日から始める。国の動向を踏まえながら、効率よく、スムーズにいくよう工夫する。

●ごみについて(プラスチックごみの分別や海岸漂着ごみの回収)

現在、家庭ごみは奥能登クリーンセンターで固形燃料化し、志賀町に持って行った後、焼却し、発電しているが、この仕組みは、令和4年度末で終了となる。令和5年度以降は、奥能登クリーンセンターの焼却炉で直接焼却することとなるが、今後、国の基準に沿ってプラスチックごみの取り扱いが変わる可能性もある。詳細が分かり次第、みなさまに周知したいと考えている。海岸漂着ごみは、行政と地

●空き家について

危険空き家は環境建設課が現地確認して指定しており、2分の1補助(上限50万)の補助金を使って除却する人もいる。

空き家の活用については、空き家バンク制度がある。移住希望者は、賃貸物件を希望する人が多いが、売買物件の登録が多く、ミスマッチがある。市として空き家を所有者から長期契約で借りて改修し、賃し出している物件が3件あり、民間ベースでもさまざまな活用の動きがあるが、基本的には老朽化していないことが前提であり、傷みの少ない空き家の情報提供をお願いしたい。

●無料バスについて(運行日や待合所の変更は可能か)

運行する時間帯や曜日は制約を受けざるを得ない状況であり、バスを利用される皆様の要望すべてにお応えするこ



▲空き家の情報は、珠洲発・暮らしのウェブマガジン「すつとずつと」に掲載しています



とが難しい状況となっている。一方で、年々地域の状況も変化していくことが予想されるので、本格運行開始後も、運行を継続しながら地域の実情やニーズに極力お応えできるよう、運行日やダイヤ、ルートについても、可能な範囲で柔軟に対応していきたいと考えている。

カメラニュース

11/29

野田健一さん瑞宝単光章を受章 長年、消防団活動にご尽力

令和3年秋の叙勲伝達式が市役所で行われ、泉谷市長から野田健一さん(宝立町)に、瑞宝単光章が伝達されました。

野田さんは、昭和49年から平成26年まで40年間の長きにわたり、珠洲市消防団員として市民の生命と財産を守るためにご尽力されました。この間、平成15年には珠洲市消防団鶴飼分団分団長に就任。平成22年には、同分団を石川県消防操法大会ポンプ車操法の部で優勝に導くなど、後進の育成と地域の防災力向上にご貢献されました。野田さんは「消防団員のみなさん、地域のみなさんのご支援のたまものです。心から感謝申し上げます」とお礼を述べました。

12/6 「みんなで築こう 人権の世紀」 人権啓発キャンペーン

12月4日から10日は人権週間。6日にはショッピングプラザ・シーサイドで、泉谷市長、金沢地方務局輪島支局石田支局長、輪島人権擁護委員協議会珠洲部会のみなさんが、誰もが安心して自分らしく暮らせる社会の実現に向け、買い物客に人権の大切さを呼び掛けました。



12/16 野菜を育てて収穫の感動を絵に 農業体験事業絵画展表彰式

野菜を育てて食べるまでの体験や思い出をもとに描いた絵画作品を募集した「令和3年度農業体験事業絵画展」の表彰式が産業センターで行われました。

入賞したのは次のみなさんです(敬称略)。

- 最優秀賞 瀬戸谷結芽(飯田小2年)
- 優秀賞 谷内菜子(上戸小4年)、後谷陸斗(大谷小中2年)
- 佳作賞 藪田樹愛(宝立小中5年)、石尾直己(若山小2年)、濱野竜佑(直小3年)、番匠衣乃里(正院小3年)、長松実優(蛸島小4年)、前根心優(みさき小3年)

▶インタビューに応える、最優秀賞の瀬戸谷さん。左は最優秀作品「はっぱに穴があいたブロックリー」。収穫の喜びや満足感が表情豊かに描かれ、葉に穴が空いている様子など、細かく丁寧に描きこまれている。



輪島税務署からのお知らせ

問い合わせ ☎0768(22)2241

輪島税務署での 確定申告の相談

申告相談や税務相談を実施
します。

▽期間 2月16日(水)～3月
15日(火)

▽時間 平日9時～16時

※相談の際には「入場整理券」
が必要です。「入場整理券」は、
当日会場で配付するほか、ス
マートフォン向
けアプリ「LEE
NE」による事
前発行も行って
います。



▽そのほか ●「入場整理券」
の配付状況に応じて、後日の
来場をお願いすることがあり
ます。 ●3月は大変な混雑



が予想されますので、2月中
の来場をお勧めします。

●3月までの間は、申告相談
の予約は受け付けていません
ので、「ご了承ください」。

●ご自身で作成された還付申
告書は1月から受け付けてい
ます。

北陸税理士会輪島支部 による「無料税務相談」

税の相談は資格を持った税
理士にお願いしましょう。

▽相談日 2月13日(日)

※当日は税務相談のみ受付

▽時間 10時～12時、13時～
16時

▽場所 ショッピングプラ
ザ・シーサイド、ワイププラザ
輪島店(輪島市)

スマホやパソコンで 確定申告

スマホやパソコンでマイナ
ンバーカードを利用していつ
でもe-Tax(電子申告)が
できます。

詳しくは、国税庁のホーム
ページをご覧ください。

▼スマホを
利用した申
告はこちら



申告書の作成で お困りのときは

「税務相談チャットボット」
にご相談ください。質問を入
力すると、AIを活用した「税
務職員ふたば」がお答えしま
す(1月中旬以降)。

また、「確定申告書等作成
コーナー」の操作に関する質
問は、同コーナーの「よくあ
る質問」に掲載していますの
で、ご覧ください。

▼チャット
ボットの利用
はこちら



確定申告書には マイナンバーの記載を

申告書には、マイナンバー
の記載と本人確認書類(マイ
ナンバーカードまたは通知
カードと運転免許証など)の
提示または写しの添付が必要
です。詳しくは、国税庁のホ
ムページをご覧ください。

「医療費控除の明細書」 の添付が必要です

医療費控除を受ける場合に
は、領収書の代わりに「医療
費控除の明細書」の添付が必
要です。

※明細書に記載した領収書は
自宅で5年間保存する必要が
あります。

※医療保険者から交付を受け
た医療費通知を添付すると、
明細書の記載を省略できます。

ふるさと納税 の注意点

ふるさと納税ワンストップ
特例の申請書を提出した場合
であっても、確定申告を行う
場合には、すべてのふるさと
納税について寄附を証明する
書類(受領書)を添付し、寄附
金控除の計算に含める必要が
あります。

公的年金等を 受給している人へ

公的年金等の収入金額の合
計額が400万円以下で、か
つ、公的年金等に係る雑所得
以外の所得金額が20万円以下
であるときには、所得税およ
び復興特別所得税の確定申告
書を提出する必要はありません。

「所得税および復興特別所得
税の確定申告の必要がない場
合であっても…」

①所得税および復興特別所得
税の還付を受けるためには、
確定申告書を提出する必要が
あります。

②住民税の申告が必要な場合
があります。
↓住民税に関する情報は、珠
洲市役所税務課市民係 ☎
(8)7735まで問い合わ
せください。



カメラニュース

12
17

介護予防体操を地域で広める 12名が「シルリハ指導士」に

「珠洲市シルバーリハビリ体操3級指導士養成講習会」の閉講式が健康増進センターで行われ、講習を受けてきた12名のみなさんに認定証が授与されました。この講習会は、「いつでも・どこでも・ひとりでも」できる「シルバーリハビリ体操」を地域で普及するリーダーを育成するもので、11月26日に開講。受講者のみなさんは、合計6日間で30時間、92種類の体操などを学び、「公民館で1つ、2つからでもやってみよう」と意欲を述べました。介護予防を通じた地域づくりのリーダーとしての活躍が期待されます。



12
20

最高額のカニを獲得 田喜知船長が大漁旗を披露

今季の加能ガニ漁初競りで、最高額500万円を付け、「蟹-1グランプリ」を獲得した、すずし底曳網船団第八丸一丸の田喜知潔船長が、泉谷市長に受賞報告をしました。

田喜知船長は、「珠洲、蛸島の名前が全国に広がり良かったです」と述べ、泉谷市長は、「漁業に携わるみなさんを元気づけてくださり感謝申し上げます。今後もご活躍を期待しています」とあいさつ。石川県底曳網漁業連合会から贈られた大漁旗を囲み、今後の漁に期待しました。



▲大漁旗を披露した田喜知さん(右から3人目)。グランプリの対象となったカニは、重さ1.88kg、甲羅幅15.6cm。石川県漁協が認定する県産ズワイガニの雄「加能ガニ」の最高級ブランド「輝」に認定されました。

江差

243

珠洲市と友好都市提携を結んでいる北海道江差町の話をご紹介します。

開陽丸を語る会講演を開催

明治元年(1867年)旧幕府軍の軍艦開陽丸が暴風雪によって江差沖に沈没した11月15日、町内ホテルにおいて「開陽丸を語る会」講演会が開催されました。

この語る会は毎年この日に開催されており、世界最新鋭の軍艦であった開陽丸の残した歴史を風化させず後世に正しく受け継いでいくことを目的に開陽丸友の会が企画しています。

今回は、江差町出身で現在、函館碧血会の木村裕俊氏を講師に、「榎本武揚の一分」と題され、開陽丸友の会の会員など37名が開陽丸、そして旧幕府軍を指揮した榎本武揚の生涯について理解を深めました。



案内・お知らせ

建設リサイクルにご協力をお願いします

建設産業では、発注者と受注者が一体となり、建設資材のリサイクルに積極的に取り組んでいます。
公共工事に限らず、家屋の解体工事のときに、解体業者に適正な分別解体を促すなど、建設リサイクルの推進にみなさんのご理解とご協力をお願いします。

環境建設課都市整備係



奥能登に就業された人に商品券を交付します



若者の定住促進のために、左記の人を対象に、市内共通商品券(3万円分)を交付しています。
▽対象者 新規卒業者および40歳以下のU・Iターン者で卒業後または転入後1年以内に奥能登2市2町(珠洲市・輪島市・能登町・穴水町)に就業した人(公務員を除く)
申請書に必要事項を記入のうえ、産業振興課まで提出してください(申請書はホームページからダウンロードできます)。該当の人は早めに申請をお願いします。
詳しくは左記まで。
■産業振興課商工振興・企業誘致係
☎(82)7775

国民年金は口座振替が便利でお得です

国民年金保険料の納付は口座振替での前納・早割が便利でお得です。申し込みは早めにお願いします。
▽申込方法 ●令和4年度分2年前納・1年前納・6か月前納を希望する方は「国民年金保険料口座振替納付変更」申請書を左記まで提出してください。
※当月末振替を希望される方は、随時受け付けています。
▽申込先 □座振替を行う口座のある金融機関、年金事務所
▽持ち物 年金手帳(基礎年金番号)、預貯金通帳、金融機関への届出印
▽申込締切 2月28日(月)まで
問い合わせ
七尾年金事務所
☎0767(53)6511

不動産公売会

市税の滞納につき、差押えた不動産を公売します。
▽入札日時 2月3日(木) 11時~11時15分
▽開札日時 2月3日(木) 11時16分
※受付および説明、公売保証金の納付は午前10時から
▽場所 産業センター 2階会議室
▽公売物件 ●珠洲市蛸島町 寄部2番580、夕部96番30(宅地2筆169・98㎡)
▽見積価額 77万円
▽公売保証額 8万円
※公売の手続き・注意事項については、税務課窓口にある「公売広報」をご覧ください。下記までご連絡ください。

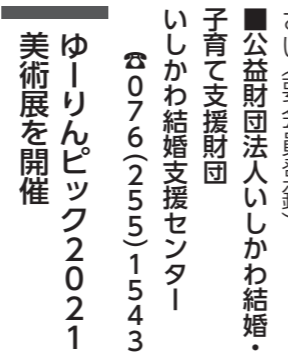
ご厚志ありがとうございます
11月19日 受付分まで (敬称略)
■金10万円(総合病院運営費用)
物應明(宝立町)

石川の特産品de うまいもん婚(能登編)



能登の「うまいもん」を味わいながら交流を深めるオンライン婚活イベントを開催します。参加者には特産品を送付するので、それぞれのご自宅などから参加できます。
グループトークや1対1の小部屋トークで楽しく交流しませんか。
▽日時 1月23日(日) 18時~20時30分(受付17時30分)
▽対象 20~45歳の独身男女(男性・県内在住者、女性・居住地は問いません)
▽参加費 3,000円(特産品代金・送料)
▽司会 いしかわ縁結び応援隊「月亭方気」(石川県住みます芸人)
☎076(255)3135

ゆーりんピック2021美術展を開催



高齢者の健康増進と生きがいづくりを目的に「ゆーりんピック2021美術展」を開催します。入場は無料です。
●ゆーりんピック2021美術展 優秀作品展
▽展示期間 2月4日(金)~6日(日)まで
▽時間 9時30分~17時(入館は16時30分まで)
▽展示会場 石川県立美術館 広坂別館(金沢市)
●ゆーりんピック2021美術展
▽展示期間 3月4日(金)~6日(日)まで
▽時間 9時30分~16時
▽展示会場 しいのき迎賓館 1階しいのきプラザ・2階イベントホール(金沢市)
●ゆーりんピック実行委員会
☎076(255)3135

検診期間は、残り3か月です!

歯周疾患検診を受けましょう

珠洲市では今年度40歳、50歳、60歳、70歳に達する方を対象に無料の歯周疾患検診を実施しています。対象の方には、昨年8月にご自宅へ無料受診券を郵送しています。
歯周疾患は、循環器疾患や糖尿病などの生活習慣病に深くかかわっています。まだ受診していない方は、ぜひ歯周疾患検診を受けましょう。

- 受診期間 3月31日(木)まで
- 検診費用 無料
- 持ち物 歯周疾患検診無料受診券、健康保険証
※検診後に必要となった治療費は、自己負担になります
※無料券を紛失された方は下記までご連絡ください
- 問い合わせ 健康増進センター ☎(82)7742

※右記の市内歯科医院で受診できるほか、輪島市・能登町・穴水町の一部の歯科医院で受診できます。
詳しくは、郵送した案内文をご覧ください。健康増進センターまでお問い合わせください。

歯科医院名	電話番号
たかせ歯科医院	☎(84)1234
なかはま歯科医院	☎(84)1417
とね歯科医院	☎(82)8022
カーム歯科医院	☎(82)2814
岡村歯科医院	☎(82)1867

珠洲市地域職業相談室 (ハローワーク) をご利用ください



珠洲市地域職業相談室は、地域で職業相談を専門に行うハローワークの相談窓口です。仕事をお探しのみなさん、求人を行う事業者のみなさん、ぜひご利用ください!

- 求人情報の公開
◎毎月、第2木曜日「のと・すず求人情報」、その他の木曜日に「週刊求人情報」を発行
 - マンツーマンの職業相談
◎専門の相談員が伺います。在職の方でも相談できます。
◎求職中の活動実績に該当します。
 - 就職へのアドバイス
◎就職活動の方法、仕事内容や労働条件、履歴書や職務経歴書の作成についてもアドバイスします。
 - 紹介状の交付
◎希望する事業所への連絡・面接日などの調整のほか、紹介状を交付し、面接のアドバイスも行います
- 利用時間 月~金曜日 9時~16時30分(土・日・祝、年末年始は休み)
■場 所 すず市民交流センター1階(珠洲市役所向かい)
■問い合わせ ☎(82)0157 FAX(82)1249

今月の納期
国民健康保険税第6期
市・県民税第4期
後期高齢者医療保険料第10期
納期 1月31日(月)

珠洲市民図書館

開館時間 9時～18時30分 休館日 月曜日・祝日・年末年始
☎(82)3377 Fax (82)0675

蔵書点検期間のため休館します

令和4年1月17日(月)～21日(金)

期間中、貸出はできませんが返却ポストに返却はできます。しばらくの間ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願いいたします。

なお、学習室は9時～17時まで利用できます。

01 読み聞かせボランティアによる「おはなし会」

■日時 1月8日(土)10時30分～
■読み手 「どんぐりの会」のみなさん

02 「ささやかな朗読会」

小説や詩を耳で楽しむ屋下がり朗読会。

■日時 1月8日(土)14時～
■読み手 「すぐ朗読文芸ラドリオ」のみなさん
■朗読作品 紫式部『源氏物語』より

03 えほんとかみしばいのよみきかせ

幼児から就学前のお子さんにおすすめ!

■日時 1月15日(土)14時～
■テーマ 「ゆき」

04 上映会「シアター図書館」

土曜日は子ども向け、日曜日は大人向けを上映します。時間は、それぞれ11時～16時まで連続上映しています。

■子ども向け 1月29日(土)
■内容 「おしりたんてい ププっゆきやまのしろいかいぶつ」(60分) …スキーのようにゆきおとこがでた、といういらいをうけてやってきたおしりたんてい。はたして、ゆきおとこを見つけることができるのか!?
■大人向け 1月30日(日)
■内容 「あいむはっぴい!と叫びたい」(78分) …「知的障がいを持つ人が自立して地域で暮らす」その実現に挑んでいる人達の日々を見つめました。

すべて参加無料、申し込み不要です

赤ちやんがうまれました

(赤ちゃん)	(性別)	(両親)	(住所)
巻野 いろは 色晴	(女)	廉・弥彦	宝立町
加藤 いおり 衣織	(女)	宗和・友希	上戸町

(11月22日～12月20日受付分・敬称略)

の動き 11月の動き

	世帯数	5,979世帯	前月比 (-12)	転入	12人
人口	13,370人	(-36)	転出	25人	
男性	6,182人	(-19)	出生	2人	
女性	7,188人	(-17)	死亡	25人	

(住民基本台帳人口)

お詫びと訂正

広報すず 12月号の24～25ページ「カメラニュース」に誤りがありました。ここにお詫びして訂正いたします。

「第50回珠洲市文化祭」記事で、珠洲市文化協会について

- 正 昭和46年6月に、27の団体で発足
- 誤 昭和46年9月に、27の団体で発足

農林水産省登録で「安全・安心」

バイオマス肥料 為五郎

珠洲市浄化センターでは、「為五郎」を無料でお渡ししています。1袋15キロ入りで、成分分析を行い安全性を確認しています。

1回に30袋以上注文される人には無料で配達も行います。また、ご近所までとめての注文も可能です。ご注文は下記までご連絡ください。(受付時間は平日8時30分～17時15分)

■環境建設課上下水道係
☎(82)7786



ようこそ! ロビーの

国際ロビー

世界中のいろいろな文化が行き交う、「ロビー」の「国際ロビー」へようこそ!

ロビーが撮った
珠洲の写真
公開中!!



国際交流員 ハンソン・ロバート・デービッドさんのお話 ④

あけましておめでとうございます! あっという間に2021年が終わりました! 新年を迎える度に振り返る気分になりますが、みなさんはいかがでしょう。

私は珠洲市へ配属されてから4年目になり、本当に不思議な気持ちです。1年目はいろいろな不安があり、知り合いもあまりいませんでしたが、今は生活のさまざまなところに慣れてきました。

海外に住んだら「カルチャーショック」、日本語で「文化的衝撃」という言葉をよく耳にしますが、みなさんはご存じですか? カルチャーショックとは異文化に触れた時、習慣や考え方の違いで心理的にショックを受けることですが、少し誤解しやすい言葉だと思います。

カルチャーショックは主に4つの部分に分けられます。海外に住んでからの最初の2か月は「ハネムーン期間」と言い、新しい経験を単純に楽しむ期間です。半年くらい経った頃の「移行期間」は、異文化の大変なところばかりが目がいき、不安や不満を感じる期間です。その後、8か月くらい経った頃の「調整期間」は、状況が変わらないから自分を変えないといけないうことに気づき、1年間くらい経ったら、最後の「融合期間」に入り、以前まで異文化と感じたところに、自国の文化との共通点を見つけ、また新たに生活を楽しむことができるようになります。

初めて日本に留学する前、授業でカルチャーショックについていろいろ学びました。その時は短期留学でしたので、旅行の期間のように全部がハネムーン期間でした。それに対して、1年間くらい留学した時や珠洲に来た直後も、振り返ると確かにカルチャーショックがあったなと思います。

ショックや衝撃という言葉なので、「びっくりした!」ということ想像しますが、自分の経験ではそういったところが比較的になかったです。それより、自分でもあまり気づかないほどの小さな出来事が重なり、それがカルチャーショックとなっているようです。



珠洲で作ったハンバーガーです!

例えば、珠洲に来たらアメリカで自分がいつも食べた朝食や好きな晩ご飯の材料がどこのスーパーにもありませんでした。最初は他の食べ物で済ませまし

たが、食生活の違いで「ホームシック」を感じていた頃もあります。材料がないのが衝撃だったわけではなく、食生活に慣れるのが大変、というのがカルチャーショックでした。

他は、「服がどこで買えるのか」や「掃除する時は何をすればいいのか」というささいなことから、「今まで経験のないさまざまな場面で、コミュニケーションの取り方が分からない」ことや「個々の人間関係で自分への期待がいつもと違う」など、さまざまな不安が重なって、一番大変な「移行期間」に入っていたと思います。

珠洲に来てから4年目、日本に来てから5年目になりますので、間違いなく「融合期間」になりますが、それは自分が完全に日本人っぽくなったというわけでもありません。アメリカ人であるアイデンティティがなくなる、なくしたいとも思いません。「母国と違う文化をどう受け入れるのか、異なるときはどう対応するのか」、「身長2メートルの服はどこで買えるのか」など、さまざまな小さいところを乗り越えたからこそ、やはり海外に住んでよかったなと思っています!

ということで、これからもみなさんと一緒に交流してもっと成長したいです! 今年もよろしくお願いいたします!



★今月の国際交流サロン★

国際交流サロンは外国語や異文化と触れ合えるイベントです! 気軽に珠洲に住んでいる外国人と仲良くしませんか?

■日時 1月28日(金) 19時～20時

■場所 ラポルトすず

■問い合わせ 観光交流課 ☎(82)7776

※新型コロナウイルスの影響などにより中止する場合があります

危機管理室からのお知らせ

地震への 備えをお願いします



速やかに避難するには、日頃からの備えが大切です。あらためて、次の事を確認しましょう。

①家具の転倒防止

家具が倒れないように固定し、地震が起きたときに安全に外に出られる逃げ道を確保しましょう。



②非常用持出し袋の用意

いざというときにすぐに避難できるように、非常用持出し袋を用意しましょう。水や食料、乾電池などは使用期限の確認をお願いします。



③避難場所・経路の確認

ハザードマップ(津波・土砂災害・ため池・洪水)を活用して、いざというときにどこに避難するか確認をお願いします。

珠洲市 ハザードマップ

※避難する際は、できるだけ声をかけあい
集団で避難しましょう。

災害情報について

①戸別受信機の有償貸与

防災行政無線の放送を屋内で聞くことができる戸別受信機を1万円でお貸ししています。ご希望の方は、下記までお電話ください。

②防災メール

防災行政無線と同じ情報を携帯電話で受け取ることができます。右のQRコードを読み込んで登録してください。登録方法が分からない方は、下記までへお問い合わせください。



問い合わせ ■危機管理室 ☎(82)7725



一年の無火災を祈願 消防出初式

令和4年珠洲市消防出初式は式典をラポルトすず大ホールで行います。また、天候や感染症の状況によっては、予告なく内容を大幅に変更する場合があります。

放水式を観覧される方は、マスクを着用し出来るだけ「密」にならないようにご配慮をお願いいたします。

■日にち 1月8日(土)
■内容 【神社参拝】春日神社 8時40分、【式典】ラポルトすず大ホール 9時30分、【観閲式】ラポルトすず南側臨港道路 10時35分、【放水式】若山川河川敷(飯田町地内) 11時

「地域愛 みんなを守る 消防団」
石川県消防団入団促進一斉広報キャンペーン統一標語
吉田絆生さんの作品

新入団員募集中!!

みなさんが暮らしている地域を守る消防団。火災や風水害、震災などの災害や、地域コミュニティの維持・振興に大きな役割を果たしています。各地域の消防団があなたの力を必要としています。消防団に入り、大切な地域を守りませんか。
問い合わせ ■危機管理室 ☎(82)7725

金沢大学 能登学舎の窓から

能登の里山里海学会 2021 を開催しました

■大人の文化祭！？学会開催

金沢大学能登学舎では、大学と地域が連携した全国でもユニークな取り組みとして、社会人向け人材育成プログラム「能登 SDGs マイスタープログラム」をはじめ、地域での事業や活動のサポートと連携した研究活動を行っています。

能登学舎には大学のほか、里山里海の保全活動に取り組むNPO法人能登半島おらっちゃんの里山里海、珠洲市自然共生室、能登 SDGs ラボといった団体が集まっており、世界農業遺産「能登の里山里海」をフィールドにした研究活動の拠点となっています。

そこで、能登学舎を拠点に実践されているさまざまな活動を「能登の里山里海学」と位置づけ、みなさんの日頃の研究成果を発表する場として、能登の里山里海学会2021を企画しました。

■あげたりもらったり？里山里海文化は 世界にもつながる

12月4日(土)、能登学舎を会場に学会を開催しました。午前は、北九州市立大学の竹川大介さんから人類学からみる里山里海文化について講演いただきました。能登から遠く離れた南太平洋のソロモン諸島の村の事例でしたが、もらったりあげたりの贈与文化、集落の関係修復のプロセスなどは、能登とも共通するところがあり、会場に集まった約60人の参加者のみなさんは熱心にうなずきながら聞いていました。

また、口頭発表は2会場に分かれて行いました。生物多様性セッションでは、京都大学フィールド科学教育研究センターの赤石大輔さん・珠洲市自然共生室の宇都宮大輔さんから、里山の生物モニタリング、保全



▲生物多様性セッション ため池対談

活動の事例や課題について、各フィールドから報告いただき、現在珠洲市で生きもの調査活動に参加している松本恵さん、加藤秀夫さんにも



▲多くの方にご来場いただきました！

登壇いただいて「ため池対談」を行いました。

文化多様性セッションでは、国立歴史民俗博物館の川邊咲子さんから、地域の文化史を表しているともいえる民具の新しい保存・活用方法について、能登里海教育研究所の浦田慎さんからは、1910年以降に能登でも盛んに生産されるようになった蚕(生糸の原材料)がどのような「能登のシルクロード」をたどって最終的に海外に運ばれていたか、当時の海運のルート・貨車票などについて独自に集められた資料を基にお話いただきました。NPO マイスターネットワークの川上和孝さんからは、マイスタープログラムを修了した方々の多様な活動の紹介と、これからのネットワーク構築についてお話いただきました。各セッション共に、熱気にあふれる会場となりました。

■マーケットと手仕事ワークショップ

午後は、体育館を会場に、ポスター発表、里山里海マーケットと手仕事ワークショップを開催しました。野菜や米、地元産の食材をつかったお菓子や飲み物をはじめ、木工製品、家具、漆器など、マイスター受講生・修了生による自慢の逸品が並びました。マイスター4名による手仕事ワークショップでは、中谷竹志さんによる能登の野草でつくるハーバリウム、瀬川しのぶさんによる能登の海藻でつくるふりかけづくり、松田咲香さんによるカメラの「物撮り」技術、今井誠さんによる丸太早切り競争が行われ、どれも大盛況でした。

今回の能登の里山里海学会には、マイスターのみなさん、地域の方々、里山里海に関心がある大学生たち、研究者の面々が集まり、日頃の研究や活動を発信し、互いに情報交換することができました。次回の学会では、さらに多くのみなさんと里山里海の文化や保全について集まり考えることができる場になるようにしたいと思います。

●木下 靖子 【きのした やすこ】

金沢大学先端科学・社会共創推進機構特任助教。専門は人類学、海洋・島嶼部の文化研究、里海をフィールドにした教育支援。2021年より珠洲市在住。



議会報告

令和3年第7回珠洲市議会12月定例会

議決・承認事項

一般会計で1億3,425万円を増額

市長提出の議案8件を可決、報告4件を承認、請願1件を採択、議会議案1件を可決

可決された市長提出議案

予算

■一般会計

1億1,169万3千円を増額し、累計で131億9,306万7千円になりました。主なものについては下記をご覧ください。

■国民健康保険特別会計

1,263万1千円を増額し、累計で17億4,649万9千円になりました。

■介護保険特別会計

103万を増額し、累計で29億287万7千円になりました。

■病院事業会計

641万円を増額し、累計で47億6,436万8千円になりました。

■水道事業会計

178万6千円を増額し、累計で1億5,529万1千円になりました。

■下水道事業会計

処理場建設改良費などを増額し、複合処理施設建設改良費などを減額。合計で70万円を増額し、累計で

15億142万3千円になりました。

条例

■珠洲市国民健康保険条例の一部を改正する条例について

健康保険法施行令等の一部を改正する政令の施行に伴い、出産育児一時金に関する規定を改正しました。

■珠洲市行政財産の使用料徴収条例の一部を改正する条例について

行政財産の使用料、徴収期限及び徴収方法を整理するため、必要な規定を改正しました。

承認された市長提出報告

予算

■専決処分報告について

「一般会計補正予算(第4号)」

新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため、同ウイルスワクチン接種事業費4千万円を増額しました。

■専決処分の報告について

「一般会計補正予算(第5号)」

18歳以下の子どもを持つ世帯を支援するため、子育て世帯への臨時特別給付金事業費7,018万5千円を増額しました。

その他

■損害賠償額の決定及び和解について

緑丘中学校において、除草作業中に石がはね、市民の車両に損害を与えたため、その損害を賠償しました。

■損害賠償額の決定及び和解について

市庁舎敷地内において、樹木破砕機を操作中に市民の車両に接触し損害を与えたため、その損害を賠償しました。

採択された請願

■ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための2022年度政府予算に係る意見書採択について

可決された議会議案

■少人数学級・教職員定数の改善に係る意見書について

一般会計補正予算の主なもの(歳出・増額)	
・ デイサービスセンター施設維持費	2,703万8千円
・ 灯油あったか支援事業費	1,600万円
・ 光ファイバ整備事業費	770万円
・ 小学校に係るGIGAスクール構想情報環境整備事業費	635万4千円
・ 農村総合整備事業費	546万円
・ 児童手当費	462万円

の働き方改革を実現するため、国に意見書を提出しました。

一般質問

「令和4年3月28日から無料バスをスタートする」

公共交通の再編について、泉谷市長が答弁

令和3年12月7日に行われた一般質問では、森井洋光、三益三千三、濱野隆三、番匠雅典、向山忠秀、濱田隆伸、中板秀一郎の7議員が市政全般について質問しました。主な答弁は次のとおりです。

これからの市政に対する展望については

先日、11月25日から27日にかけて、「能登の里山里海」が佐渡市とともに我が国で初めてとなる「世界農業遺産」に認定されてから10年の節目を迎えることを記念し、七尾市において、「世界農業遺産国際会議2021」が開催された。珠洲市が金沢大学と連携し、14年間にわたり人材育成事業を継続して実施していることや、2018年度に内閣府から「SDGs未来都市」に選定され、SDGsの観点から里山里海の保全・活用に取り組んで



いること、さらには、世界農業遺産として認められた美しく豊かな景観や、地域の伝統文化、営みを活かした「奥能登国際芸術祭」の開催など、珠洲市の取り組みが高く評価された。また、この1年9か月余り、新型コロナウイルスの闘いが続いている。本市の稼働力でもある、宿泊や飲食など観光業が衰退すれば、コロナ禍が収束したとしても、本市の地域経済は回復することができず、珠洲市が崩壊しかねないことから、数次にわたり対策を講じてきた。

一方で、新型コロナウイルスによって、社会の変化が大きく加速された。あと10年も経てば、通信の発達により、珠洲市で暮らしながら大都市の企業に勤務することができる時代がやってくるのではないか。そうなれば、能登半島の先端という地理的ハンディを克服し、住みよい珠洲市に人が集まる

のではないかと考えていたが、もうすでに、そんな時代が到来している。

本年6月には、東証一部上場企業のアステナホールディングス株式会社が本社機能の一部を珠洲市に移転し、新たなビジネスを生み出すべく取り組まれている。さらに、本市では、今年度上半期において、転入者数が転出者数を上回る、転入超過となった。

こうした動きをさらに発展させるために必要不可欠である光ファイバの整備も、能越ケーブルネット株式会社と連携し、今年度中に市内全域で完了する。

さらに、「奥能登国際芸術祭2020+」の開催によって、世界で類のない、光と音と映像による劇場型の歴史民俗博物館「スズ・シアター・ミュージアム」という珠洲市の新たな財産が生み出された。今後、世界的に新型コロナウイルスの感染が収束し、インバウンドが回復

した際には、この「スズ・シアター・ミュージアム」が大きな力を発揮するのではないかと考えている。珠洲市の将来にとって、ここから2、3年が大きな転換点になると思う。

現状を打破し、珠洲市が大きく前に進むためには、さらなる変革が必要であると考えている。新たな公共交通システムの導入に加え、岸田政権のテーマである「デジタル田園都市国家構想」に呼応し、デジタルトランスフォーメーションによって利便性の向上を図るとともに、可能であれば第3回目となる「奥能登国際芸術祭2023」を開催し、本市の魅力をもさらに高めることで、移住・定住につなげ、市民の皆様とともに、持続可能な「安心して暮らせる活力ある珠洲市」を目指して、全力で取り組んでいきたい。

奥能登国際芸術祭については

今後の「奥能登国際芸術祭」の開催方針についてであるが、2017年に初めてとなる芸術祭を開催した折から、芸術祭は単なるイベントではなく、能登半島の先端である珠洲市から人の流れ、時代の流れを

変える「運動」であると考えており、可能であれば、第3回目となる「奥能登国際芸術祭」の開催を目指していきたいと考えている。

「奥能登国際芸術祭」は、2000年から開催している新潟県越後妻有の「大地の芸術祭」や2010年から開催している「瀬戸内国際芸術祭」と同様に、当初から、3年ごとに開催するいわゆるトリエンナーレ方式とし、「大地の芸術祭」、「瀬戸内国際芸術祭」と重ならない年に開催することとしている。

本来であれば、第2回目を2020年に開催する予定であったが、新型コロナウイルスの影響により、やむなく、本年2021年に延期したところであり、当初の開催方針からすると、第3回目の開催は2023年となると考えている。



するとすれば、参加アーティストの選定や作品制作など、開催に向けた準備期間は2年足らずとなり、これまでと比べ、かなり厳しいスケジュールとなる。

11月5日に芸術祭が閉幕してから、現在、珠洲市民アンケートを行っているところであるが、今回の芸術祭の開催内容や、次回芸術祭の開催に関する市民の皆様の意見を取りまとめたうえで、芸術祭実行委員会を通し、さまざまな観点から次回の開催について検討を進めていきたいと考えている。

次に、「奥能登国際芸術祭」による、移住・定住の促進効果についてであるが、本市の移住支援窓口である「ずず里山海移住フロント」を通して把握している移住者数は、今年度

11月末までの8か月で67名を数え、すでに昨年度の年間実績である51名を大きく上回っている。

また、第1回目「奥能登国際芸術祭」が開催された2017年度以降の5年間で合計250名の方が移住しており、芸術祭以前の2016年度までの5年間の移住者数が135名であったことと比較すると、約1.9倍に増加している。

「奥能登国際芸術祭」が移住の直接的なきっかけになったと考えられる移住者数は、これまでに10名程度となっているが、若い移住希望者の中には、珠洲市が「新しいことに挑戦できそうな地域」という好印象を持って相談に来られる方もいる。このように、芸術祭は、珠洲市のイメージを向上させる大きな要因の一つになっていると考えており、芸術祭を通して、世界農業遺産にも認定された美しく豊かな里山海をはじめ、珠洲市の潜在的な魅力が掘り起こされ、さらに磨きがかかるとともに、その魅力が広く遠く発信されていることが功を奏していると考えている。

本市が参加する移住セミナー

今回、各学校に学校運営協議会を設置して、コミュニティ・スクールを導入し、学校と地域住民などが力を合わせて、目指す子ども像の実現に向けて、学校運営に取り組み、より「地域とともにある学校」を目指したいと考えている。

コミュニティ・スクールの導入にあたり、令和元年度より研究校として、みさき小学校、三崎中学校を先行して指定している。

両校では、学校運営協議会の設置に向けて、兵庫教育大学大学院教授日渡円氏を講師に研修会を行い、「熟議」として、中学校・小学校の保護者、地域の皆様や教職員、生徒が参加しての意見交換を重ねている。協議会では、三崎地区でめざす子ども像を「ふるさとの未来を支える三崎っ子」とし、保護者や地域の皆様が目標を共有して、学校と保護者・地域の連携・協働の体制を進め、役割分担による取組を進め、三崎町のみなさんと一体となって「地域とともにある学校づくり」を進めている。

この間、コミュニティ・スクールの導入に向けて、各学校の校長・教頭を対象とした研修会を開催したり、校長

ナーなどでは、美しく豊かな里山海をはじめ、人材育成事業「能登里山海SDGsマイスタープログラム」や「奥能登国際芸術祭」、さらにはSDGsの取り組みなどを、常にアピールしている。

また、地方への移住に関心のある全国の方々とインターネットを介してつながる、移住スカウトサービス「SMO UT（スマウト）」においても、芸術祭の紹介記事を掲載し、多くの方に興味を持っていただいております。さらに、大学と連携して進めているワークショップにおいても、里山海を活かした営みや、SDGsなどのテーマを取り上げ、本市に継続的に関わっていただける「関係人口」の拡大に努めているところである。

今後とも、芸術祭やSDGsの推進などを通して、関係人口の拡大に継続的に取り組むとともに、移住・定住の促進につながるよう、関係機関と連携しながら相乗効果を高めたいと考えている。

テレワークについては、今後も定着するものと予想して

次に、「性的少数者の人権」については、平成27年に石川県人権教育・啓発行動計画改訂版を策定しており、その中で、配慮すべき人権問題への対応として「性的少数者の人権」について示されている。

また、石川県教育委員会による研修会の実施や全教職員向けの「人権啓発リーフレット」の配付などにより、学校教育における人権教育の改善・充実に向けて、きめ細かな支援や対応の事例が示されている。学校においては、年間計画に基づいて人権教育が進められており、今年4月からはじまった人権週間では、人権意識を育み、高める特色ある取組が行われている。道徳や学級活動の時間などで「性的少数者の人権」を学習している学校もある。

今後、文部科学省の通知および石川県教育委員会の方針などを基に、相談しやすい体制づくりや医療機関などの専門機関との連携をどのように行うかなど、検討していきたいと考えている。児童生徒お

おり、働く場所や時間にとらわれず柔軟な働き方ができることから、起業やU・Iターン、移住・定住の促進につながると考えている。

本市としては、市内でテレワークなどを行う目的で事業所を整備する、市外の事業者に対して「珠洲市サテライトオフィス等設置促進補助金」を本年4月から設けている。

また、石川県においても、「能登地域等サテライトオフィス立地促進補助金」が設けられており、テレワークを活用した、人材や企業の誘致について、連携して取り組んでいるところである。

本市におけるコ・ワーキングスペースを利用した、テレワークやワーケーションの現状としては、現在整備中の珠洲ビーチホテルのほか、「木ノ浦ビレッジ」を運営する合同会社「ザ・アグリアンテール」が、全国でテレワークに相応しい魅力ある宿泊施設を展開する「株式会社ライフル」と連携し、地方型シェアサテライトオフィスと宿泊機能を持つ「リビング・エニウェア・コモンズ」を昨年11月からスタートさせており、これまでに85名の方が利用されている。

本市としては、サテライトオフィスとして利用できる場所やコ・ワーキングスペースの整備について、今後、国の「デジタル田園都市構想」に係る交付金などの動向を注視しながら、市が所有する施設の活用も含め、検討していきたいと考えている。

次に、コロナ禍で急速にデジタル化が進む中、特に高齢者においては、デジタル技術を利用できるかどうかで、その生活の質に、より大きな格差が生じることが懸念されている。

高齢者がデジタル機器の便利な利用方法などについて身近な場所や受講できるような年度に向けて、公民館におけるWi-Fi環境の整備や、必要に応じて職員などを派遣し、セミナーを開催することなど検討を進めていきたいと考えている。

教育環境の充実については

本市においては、これまでも子どもたちの豊かな成長のために、学校と連携して、学校のPTAでの活動や地域の各団体による取組などが行われてきている。



授業は、市内8校において、国語や算数、学級活動、総合的な学習の時間などで、学習の進度や授業時間を学校間で調整しながら、すでに実施されている。市内の学校同士をはじめ、市外の学校との合同授業を行う学校もある。SDGs学習では、フィリピンのイフガオの学校との交流もオンラインで行うなど、合同学習は、児童生徒同士が互いに学び合える学習の時間となっている。

児童生徒一人1台の学習用パソコンの配備と通信環境の整備と、教員の授業づくりにより児童生徒の学びは大きく変化してきている。今年度もGIGAスクール構想の推進に向けて、教員の学習パソコンの活用技能の向上のための研修を実施したり、また、各

学校での授業実践を集めた事例集を作成して、先生方にアイデアを共有して、授業実践に活用できるようにしている。

「すべての子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学び」の実現に向けて、合同授業の取組など、学習用パソコンを活用した授業の充実を図るために、引き続き、取り組んでいきたいと考えている。

次に、今後の教育情勢への対応について、現在我が国は、少子化、核家族化、情報化、国際化など、経済社会の急激な変化を受けて、人々の価値観や生活様式が多様化するともに、人間関係や地域におけるつながりの希薄化など、子どもたちを取り巻く環境や家庭における親の子育ての環境は大きく変化している。社会の変化は加速度を増すとともに、令和元年度に始まった新型コロナウイルス感染症の影響などにより、本当に先行きが複雑・不透明で予測困難な時代となっている。

しかしながら、いつ、どのような時代においても、これからの将来を担っていくのは子どもたちである。「学校教育」を整備や運行ルート、ダイヤ設定のための運行実験を実施するとともに、本年6月には、今後の市内バス路線の運行を担う「一般社団法人すずバス」を設立するなど、必要となる準備を進めてきた。

現段階では、金沢・珠洲間を往復する「特急バス」や珠洲市と能登町を結ぶ「転換バス」以外の市内バス路線において、令和4年3月28日から無料バスをスタートする予定としている。

バスの運行ルートについては、現在、バスを利用いただいている方に混乱が生じないよう、基本的には現在のルートを引き継ぐとともに、運行ダイヤについても、可能な限り、現在の運行本数を確保することとしている。

しかしながら、市内バス路線の無償化を含む公共交通の再編については、重複する運行ルートの解消と効率化による運行経費削減のため、スクールバスと路線バスの統合を図りたいと考えているが、外浦地区においては、一部乗り換えが生じることから、利用いただく皆様には多少のご不便を強いることになる。これらの課題を解決するため、乗り

にはこうした将来を担う子ども達を育てるという大きな責務がある。

このような不透明で予測困難な時代だからこそ、将来子どもたちが力強く生き抜くために、さらなる学校教育の充実を図り、「生きる力」の3つの要素である「確かな学力」「豊かな心」「健やかな身体」のバランスの良い育成を図ることが最も重要と考えている。

そのため、「GIGAスクール構想」などによる「ICTの活用」、「特別の教科道徳」や「食育」の充実、さまざまな困難を抱える子どもたちが安心して学校生活などを送ることができるよう相談や支援体制の更なる充実に努めたいと考えている。

また、いじめ・不登校、規範意識の低下など、複雑化・多様化している学校が抱える教育の今日的課題は学校だけで解決できるものではない。家庭や地域の力強いご支援・ご協力が必要である。

その歩むべき今後の方向性を教育委員会がリーダーシップを発揮し、明確に示していくことが重要である。

珠洲のかけがえのない子どもたちを珠洲の地域で責任を

持つて育てていく、そういう強い気持ちを持って今後の教育行政に取り組んでいきたいと考えている。

新型コロナウイルス(第6波)への対応について

新型コロナウイルスワクチンについては、高い発症予防効果や感染の重症化を予防する効果も確認されているが、さまざまな研究結果などから予防効果が徐々に低下することが報告されている。そのようなことを踏まえ、厚生労働省の審議会で議論された結果、去る9月22日に感染拡大防止および重症化予防の観点から2回目の接種完了から原則8か月以上経過した18歳以上の希望するすべての方に、追加接種を実施することが示された。

しかしながら、昨日、臨時国会が開会されたが、岸田首相が所信表明演説において、新たな変異株オミクロンへの対応も含め、3回目のワクチン接種については、2回目との間隔をできるだけ前倒しして実施したい旨、発言したことから、今後、国の動向を注視するとともに、国の方針が明確になった際には、臨機応

ただくことができる、そして今後も持続可能となる公共交通システムの実現を目指すものである。

現在、運行されている国道や県道といった主要ルートその他、現在バスが運行していない公共交通空白地域においても、令和2年度に運行実験を実施した地域を基本として、週に1〜2回程度ではあるが、事前予約制のバスもしくは乗合タクシーを運行することとしている。

運行の際に使用する車両については、公共交通空白地域専用の車両ではなく、主要ルートを運行している車両の空き時間を活用する予定としている。また、公共交通空白地域として運行する予定の地域は、市内全体で7〜8か所程度あることから、運行する時間帯や曜日には制約を受けざるを得ない状況であり、バスを利用される皆様の要望すべてにお応えすることが難しい状況となっている。

一方で、年々地域の状況も変化していくことが予想されるので、本格運行開始後も運行を継続しながら地域の実情やニーズに極力お応えできるよう、運行日やダイヤ、ルー

議会報告

令和3年第8回珠洲市議会 12月臨時会

◎可決された市長提出議案

■予算 (令和3年度一般会計補正予算)
子育て世帯への臨時特別給付金事業費として6,068万5千円を増額し、累計で132億5,375万2千円になりました。
▶事業の詳細は、本紙10ページをご覧ください



変に対応していきたいと考えている。

本市としては、現時点において、8か月の間隔を前提にできるだけ前倒しして始めることとしており、医療従事者の追加接種については、来年1月13日から行うこととしている。

また、市民の皆様の追加接種については、来年1月24日から順次接種を開始し、できる限り、迅速かつスムーズに進めていきたいと考えており、遅くとも4月中には希望する方へのワクチン接種を完了したいと考えている。

いずれにしても、ワクチン接種は感染リスクを低減し、社会生活を安定させるために

トについても、可能な範囲で柔軟に対応していきたいと考えている。

新たな運行システムへの切り替え当初は、しばらくご不便に思われることもあると思うが、今後も持続可能な公共交通システムを目指していくので、何卒ご理解とご協力をお願いしたい。

来年にかける気持ちについて

昨年の12月定例会において、令和3年の想いを「光」という漢字で表させていただいたが、お陰様で、1年を振り返ると、能越ケーブルネット株式会社と連携し、珠洲市全域で光ファイバの整備を進めることができ、6月には東証一部上場企業のアステナホールディングス株式会社が本社機能の一部を本市に移転された。また、「奥能登国際芸術祭2020+」も、無事に開催することができ、「スズ・シアター・ミュージアム『光の方舟』という新たな財産も生み出された。さらに、本市の今年度上半期の人口動態では、転入者数が転出者数を上回る転入超過となり、まさに、今年、珠洲市の未来に「光」を見出すことが

できた1年になったのではないかと思っている。

令和4年は、今後の珠洲市にとって、大きな転換点を迎える年となると考えており、来年の想いを漢字一文字にすると、起きる、「起」という漢字で表したいと思う。この文字は「始まる」という意味のほか、「生ずる」、「盛んになる」という意味もある。

来年は、本市におけるデジタルトランスフォーメーションの起点的年とするとともに、新たな公共交通システムや「スズ・シアター・ミュージアム」を常設の歴史民俗博物館として起動させるなど、さらに新たな動きを生み出し、持続可能な珠洲市に向けて、全力で取り組んでいきたいと考えている。



3月28日(月)から 路線バスを無償化します



珠洲市は平成30年度から市内バス路線の無償化を見据えた公共交通の再編に取り組んでおり、これまで、バス車両の整備や運行ルート、ダイヤ設定のための運行実験を実施してきました。

現時点では、金沢・珠洲間を往復する「特急バス」や珠洲市と能登町を結ぶ「転換バス」以外の市内バス路線において、令和3年度末から無料バスの運行をスタートする予定としています。

- 運行開始予定日 令和4年3月28日(月)～
- 利用料 無料
- 運行日 月曜日～金曜日(土・日・年末年始は運休)



■ 運行事業者について

これまで「北鉄奥能登バス株式会社」が運行していた路線バスが廃止となり、「一般社団法人すずバス」が市営バスを運行します。(※特急バスと転換バスを除く)



▲使用する車両の一例

■ 無料とされない路線について

引き続き「北鉄奥能登バス」が運行する特急バスと転換バス(宇出津珠洲線・穴水珠洲線)は有料となります。



■ 転換バス利用者の方へ

満70歳以上の方を対象に、「シルバー定期券」(北鉄奥能登バス株式会社発行)の購入費用の全額を補助し、実質無料とする予定です。



運行ルートや運行ダイヤなどは、広報すずやホームページなどで、随時お知らせします。

■ 問い合わせ 企画財政課内 ☎82(7716)

11 住み続けられる
まちづくりを

